

上馬淵川漁業協同組合管内 2018 年やまめ・いわな釣果情報

3月、4月、5月は寒さの影響で釣果情報が少なかったですが支流域では一戸地区、葛巻地区とも数は少ないものの27cm超のいわな、25cmオーバーのやまめの釣果情報が3件ありました。

本流域では、姉帯地区から葛巻町内本流、外川上流、小屋瀬周辺の支流(山形川)では23cm超の釣果実績のある場所には休日、平日を問わず、八戸、盛岡ナンバーの車が見られます。一昔前の数釣りはできないもののそこそこ釣れているようです。

一戸鳥海地区の支流ニツ石川上流域は今年度も大規模農地整備事業工事が継続しており、一部区間で釣りができない場所もありますが昨年秋に放流したヤマメ・イワナ(16~18cm)が釣れております。小友川、女鹿川については25cm超のやまめ、イワナも混じり、15~20cmクラスが釣れてます。

ヤマメは小さくてもマルマル太っております。

今季は例年より水温の低い日が続き、釣り状況の情報が少ないためいいのかどうかまだ不明ではありますが梅雨明け後の気温上昇の今後に期待しております。釣れている情報が少ない理由にはいい釣果は内緒にしておきたいという気持ちもあるかもしれませんが。

そんな状況の中、6月9日(土)夕方4時過ぎから6時ころまで7年ぶりに小鳥谷姉帯方面にヤマメの試し釣りに行ってきました。釣果は写真の通りです。前日夕方に採ったエサの「せむし」の保存状態が良くなく弱った状態の「せむし」で苦戦しましたが何とか3尾釣れました。元気なエサであればもっと釣れたのではと勝手に想像しております。川虫も近年の大雨増水等で石が埋まっている箇所が多く片手でひっくり返せる石が少なく20匹の「せむし」を採るのに2時間位かかり大変でした。川虫再生のためにも底石の攪拌が必要と思われるのですが。

遊漁者の方へお願い。

近年はルアー、フライをされる方も増えて川虫でのエサ釣りをする方が非常に少なくなっております。たまには「川虫でのヤマメ・イワナ釣り」もお願いします。川虫での釣りは川虫の増殖・再生にも繋がり、川虫が増えればヤマメ・イワナの数も増えますのでルアー、フライで釣れる数も増えます。

- 今年のあゆは5月8日に稚魚約45,500尾(去年は約50,000尾)を20箇所に放流しました。
- わかさぎの親魚については4月29日に240kgを菜魚湖に放流しました。

5/18の大雨増水の影響で流失も心配されますが放流場所等あゆ解禁情報は今月20日頃に掲載を予定しております。

今季はヤマメ・イワナの釣果情報が少なくホームページ更新ができませんでしたので今後はどんな釣果でもいいですので情報提供をお願いします。

わかさぎホームページトップ左下の漁協専用メールをお願いします。